


学校の概要		学校名	茅野市立 東部中 学校		学校長	濱 喜一郎		児童生徒数	394 名				
「地域と共にある学校づくり」へ向けた仕組について													
学校運営に必要な支援に係る協議の場						ボランティアの組織化(地域学校協働本部)について							
運営委員会(信州型コミュニティスクール)		○ 会議の委員構成				○ ボランティアのリストがある							
		市町村教委		自治会代表		○ ボランティアの団体がある(組織化されている)							
学校運営協議会(コミュニティスクール)		○ 公民館代表		○ PTA代表		○ ボランティアと学校の情報交換会がある							
		○ 地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員		○ 学校長・教頭以外の学校職員		○ ボランティアの方を対象とした研修会がある							
名称		東部中学校学校運営委員会				[その他の委員]※具体的な役職名を記入		学校と協働する様々な団体や地域との連携調整を行うコーディネーター等が学校職員以外にいます(それぞれの人数を記入)		地域コーディネーター 1 人			
		学校関係者 同窓会 主任民生児童員						地域学校協働活動推進員(教育委員会の委嘱を受けた者)		0 人			
会議開催数(予定)		3 回		今年度開催日(予定)		5月24日 12月19日 2月16日		中心的なコーディネーターの立場(リストより選択)		地域住民			
								具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入)					
運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況													
学校教育目標		【学校教育目標】豊かな人間性と創造性を培う教育 『開拓』:自己実現を目指し、進んで創造し実践しよう。『敬愛』:自他の人格を尊重し、互いに認め合う敬愛の心を持つ。 『連帯』:互いに協力し、高め合える人間関係をつくろう。『感動』:美しさに共感する豊かな感性を養おう。											
地域と共有された育てたい子どもの姿		郷土愛(市民性)の育成 ○コミュニティスクールを通して、地域の人材の協力を得た学び。キャリア教育・生き方教育 ○「地域笑顔満開プロジェクト」による地域とのつながりと地域への発信。主体的な地域との関わり ○地域を知り、地域のために出来ることを考える総合的な学習の時間。(縄文・市民科) ○地域コミュニティへの主体的な協力。(玉川ケヤキフェス・槻木廻り舞台・各種ボランティア) ○リモートを活用した地域との交流。 ○地域と協働した情報の発信。											
運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度)						地域と協働した活動状況							
1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について		○				1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」が共有されている。		○					
2 学校運営への必要な支援について													
3 地域の実情や課題について		○				2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有できている。							
4 子どもにどんな地域貢献ができるかについて		○				3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。(専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可)							
5 教職員の任用に関する一般的な要望について						4 協働活動に参加したボランティアの人数		ボランティア登録者人数 15 人		参加者延べ人数 15 人			
地域学校協働活動の概要		登下校の見守り		○ 読み聞かせ		○ 児童会、生徒会		○ クラブ、部活動		○ 給食		○ 休み時間	
		清掃		ICT		学習ボランティア		総合的な学習の時間支援		○ コロナウイルス対策の消毒・清掃		○ 放課後教科・体験学習	
		土日・長期休業教科・体験学習		地域の伝統文化の継承に係る活動		○ 子ども食堂(子どもカフェ)との連携		防災学習(避難訓練)		遠足・登山		○ キャリア教育(職場体験を含む)	
		人権教育		国際理解		託児							
学校・家庭・地域の協働した取組例													
		でいらぼっちの会読み聞かせ(通年)				地域講師を招いて6月18日・10月7日				保育園との交流(6月29日)			
		代表的な協働した活動の取組例 (上の写真の3つの取り組みの中から1つの活動を選択し、活動の内容を教えてください)											
○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)													
6月18日 1学年総合的な学習の時間に「地域を知る」をテーマに①諏訪の食～セロリや寒天のルーツ、製造方法、調理法～②諏訪の自然～八ヶ岳の成り立ち 八ヶ岳の魅力～③諏訪祭り～御柱、御柱に携わる思い～④泉野の伝統～廻り舞台・穴倉の歴史～の4つの講座講演をいただき、10月7日には「茅野で働く人から学ぶ」をテーマに①食品～仕事のやりがい、クリーム対応、商品の仕入れ先の探し方～②医療～なぜ医師の道を選んだのか、人の生死に関わることへの思い～③ものづくり～仕事のやりがい、職人を選んだわけ～④飲食～接客業に関わる思い～⑤教育・人材育成～保育士の楽しさ、保育士になる方法～⑥食品～地元産品をいかして大切にしていこう～⑦福祉～訪問サービスの具体的な仕事内容～⑧観光～仕事のモチベーションは何か～の8つの講座に分かれて講義及び質疑応答を行った。地域講師の方に来校していただき講義のみならず一問一答を繰り返す中で、より深く地域を知り、地域で働く人を知ることで、地域の人と触れ合い茅野市のこれからや働くことの意義を知り、郷土愛を育むことができた。													
育てたい子どもの姿を具現化するための学校・家庭・地域の連携・協働を推進する上での課題 (運営上の課題を記入 例 人材確保について、打ち合わせや会議について等)													
現在東部中学校では、読み聞かせボランティアの方のみ登録を行い定期的な活動として行っている。その他の項目については、学校支援ボランティアの登録制度を行っておらず、地域と方との連携も年によって、または、活動によってまちまちである。その都度講師の選定や依頼を行っているため、学校支援ボランティアの体制の構築をしていきたい。													